

2018(平成30)事業年度

決 算 報 告 書

国立大学法人 鳴門教育大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人鳴門教育大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,465	3,466	1	(注1)
施設整備費補助金	71	59	△ 12	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	-	1	1	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	20	20	-	
自己収入	697	713	16	
授業料、入学金及び検定料収入	622	623	1	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	75	90	15	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	121	146	25	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	10	2	△ 8	(注7)
計	4,384	4,407	23	
支出				
業務費	4,172	4,055	△ 117	(注8)
教育研究経費	4,172	4,055	△ 117	
診療経費	-	-	-	
施設整備費	91	79	△ 12	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	1	1	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	121	146	25	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	4,384	4,281	△ 103	
収入-支出	-	126	126	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、主として、前年度特殊要因運営費交付金退職手当分の繰越額が増加したため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として、計画変更に伴い、予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、科学技術人材育成費補助金が措置されたため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として、大学での授業料収入が増加したため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として、科学研究費補助金間接経費及び保険金等収入が増加したため、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として、独立行政法人及び株式会社からの受託事業の受入が増加したため、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。
- (注8) 業務費については、主として、教育研究経費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が117百万円少額となっています。
- (注9) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が12百万円少額となっています。
- (注10) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注11) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。また、決算額146百万円には、前年度以前における寄附金の繰越額を当年度に執行した金額5百万円を含んでおりません。